

# Vol.3 モア二だより

## 人気沸騰中！モア二のバーガー

モア二ダイナーの数あるメニューの中でも最近の人気商品といえば、ハンバーガー。昨年12月にメニューを改新し、種類も増えたことで、更にその人気に拍車がかかった様子。売り切れ御免!なんて日もあり、毎日仕込みに追われております(汗)

メニューを改新するにあたり、私たちスタッフも色んなお店のバーガーを食べ歩きました。ファーストフードからグルメバーガーまで、食べれば食べる程、同じ味わいがなく、店それぞれの個性を楽しむ事ができます。そんな中、ハンバーガーの起源で何だろう。と気になり、..調べてみましたよ~!!(\*^o^)

若者文化から発生したカジュアルな食べ物とばかり思っていた私、かなり反省です。ハンバーガー...なんて奥深い食べ物でしょう!!! 自然発生的に伝わった歴史も多いので、今回は諸説ある中でその一部をご紹介します(^)/

## ハンバーガーの歴史

### ～挽き肉料理のルーツ～

ハンバーガーの起源を探る上で欠かせないのが、挽き肉料理。挽き肉料理のルーツは11～13世紀、モンゴル系部族のタタール人が作る料理が発祥と言われています。どの様な料理かと言うと、羊や馬のくず肉をパテ状にまとめ皮に包み、馬の鞍の下に敷き、食事時まで馬を走らせる事で骨ばった肉を食べやすくした物です。馬の背中でのいい塩梅になるのでしょうか...想像するとなんとも臭そうです(^;)

その時代と言えば、ちょうどチンギス・ハーンの統治時代。なので、彼もおそらく食べていただろうと推測されています。モンゴル帝国建国の背景に肉料理あり?かもしれませんね。

その後、蒙古(もうこ)によるモスクワ侵攻で、ロシアに伝わり、ロシア人が、肉を牛肉に代え、玉ねぎや卵を加え、タタール人に因み『タルタル・ステーキ』と呼ぶようになりました。タルタルステーキの誕生については、ロシア説とドイツ(ハンブルク)説があるようで、ロシアからドイツへ伝わったのか、大航海時代の産物として、直接ドイツへ伝わったのか、いつから生のものに火を通すようになったのかはつきりしません。

さらに、ハンブルクからヨーロッパへ、そして19世紀の終わり頃にアメリカにドイツ移民が伝えたのが『ハンブルグ・ステーキ』と呼ばれ、英語発音の『ハンバーグ・ステーキ』となります。



フシ、馬肉めっちゃ好きやで

### ～ハンバーガーの誕生～

ハンバーグステーキがパンに挟まれるようになったのは、1904年開催のセントルイス万国博覧会でテキサス・ストーストと呼ばれる、茶色い皮のある分厚い白パンにハンバーグステーキを挟んだサンドウィッチが『ハンバーガー』として表記され販売されたのがハンバーガーの誕生である。という話が一般的です。ですが、それ以前から存在していたとも言われています。

そして、20世紀の初頭に専用の丸いパンと組み合わせ、今のハンバーガーの原型が誕生したと考えられています。現在の様に、ハンバーガーが世界中の人に愛される食べ物になったきっかけは、いわゆるモガナマクドナルドに代表されるフランチャイズチェーンのお陰ですね。

さて、、、皆さん、ハンバーガーの歴史は如何でしたでしょうか?長い年月をかけ、様々な国を渡り、その土地に根付く文化と融合し、ようやく今のハンバーガーが誕生したんですね。こんな歴史を知ったら、もっともっとバーガーを好きになりますよね~!



I ♥ BURGER!!